



インスピレーションになる

- 《第2530地区活動目標》
1. 会員風俗の維持と強化
 2. POLの推進への取り組みと支援
 3. TAKE ACTION - みんなで行動を起こしましょう
 4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
 5. 公共イメージの向上
 6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
 7. 研修制度の充実
 8. ロータリー財団への理解と活用
 9. 米山記念奨学会への協力

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 平井義郎
 ガバナー補佐 渡邊武
 会長 吾妻一夫
 幹事 村上裕司

十月は経済と地域社会の発展月間

2018~2019年度 ◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 バリー・ランシ
 イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ)

10月は特別月間:米山月間

10月7日を含む一週間:ロータリー学友参加推進週間

通算

第13回 [2934] 例会報告

平成30年(2018)10月4日(木)

出席委員会報告

| | |
|------|--------|
| 会員総数 | 37名 |
| 出席会員 | 27名 |
| 欠席会員 | 10名 |
| 出席率 | 72.97% |

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

◆開会点鐘 吾妻一夫 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング【奉仕の理想】 村田安啓 会員

◆四つのテストの唱和 斎藤孝裕 職業奉仕委員長

◆お客様紹介 佐藤新一 様(佐藤喜市郎会員ご友人)

【10月の奥様お誕生日】...♪♪♪ おめでとうございます。♪♪♪
 10月14日 鈴木典子様(正実会員)

.....lunch time.....

◆会長あいさつ



今日のすす払いでは喜市郎会員さんの所でお世話になり無事終了いたしました。ご参加の皆様、ありがとうございました。会長の時間ですが、最初にポリオ撲滅の募金箱をお回しいたします。皆様ご参加をお願いいたします。先だって、平野地区沼前町内会で徘徊者声掛け訓練がありました。徘徊者がいた場合にやさしく声を掛けて大事に至らないように誘導する訓練です。平野地区から約50名が参加し、それぞれの役を含めると総勢150名で行われました。私は声掛け役になり、徘徊者役の方がいる場所を回って1.5キロほど歩きました。本当にそういう場合に会ったら、我々はどういう風にしたらよいのかの訓練ですが、まずは怪我をしているかどうか確認して、110番通報をすればよいという結論を得ました。非常に勉強になりました。一番感じた事は、平野地区の人たちがすごいということです。実行委員は3回ほど練習しておりますし、まず4月から実際に行う10月までの計画、プロセスが素晴らしいと感心しました。私たちもちょっと難しいから出来ないのではなく、やるにはどうしたら良いのか考えるのが一番先決ではないかと感じて参りました。

◆幹事報告 村上裕司 幹事

- A. 月信 「ロータリーの友」10月号 「ガバナー月信」 No.4 10月号
 B. 来信

①2017-2018年度ガバナー 鈴木邦典 氏より 「2017-2018年度地区決算報告」

②ガバナー 平井義郎 氏より
 「青少年会議開催のお知らせ」 米山奨学生ダットさん
 と き、11月24日(土) 10:25~11:40
 と ころ、会津風雅堂
 「米山奨学生カウンセラー研修会開催の案内」
 と き、10月28日(日) 13:30~16:00
 と ころ、南東北総合卸センター

③ロータリー米山奨学会より 「豆辞典」他資料

「第1回ふくしま植樹祭への参加について」

と き、11月4日(日) 10:00~14:00
 と ころ、南相馬鹿島区北海老地内



吉川屋さんへお祭りについてのお願いを依頼する



スマイリング報告

◆スマイリングBOX 中島定宏 副委員長 【合計3-43】

- | | | | |
|---------|---|---|-----------------------------------|
| 小笠原尚史会員 | 2 | J | このたびは母の通夜・告別式ではたいへんお世話になりました。 |
| 吾妻一夫会員 | H | H | すす払いおつかれ様でした。喜市郎さん、スピーチ宜しく申し上げます。 |
| 中野哲郎会員 | H | H | 国際交流フェスティバル参加出来ず残念です。御盛會を祈ります。 |
| 堀切孝敏会員 | S | S | 古希祝いで箱根に一泊(子供達の招待)してきました。 |
| 中島定宏会員 | S | S | 欠席おわび |
| 大内勝行会員 | S | S | 今日は朝からごころうさまでした。早退すみません。 |
| 嶋隆章会員 | T | T | 駐車場ではご不便をおかけしました。 |
| 村田安啓会員 | T | T | 前回欠席おわび |

すす払い



◆ 会員スピーチ

佐藤喜市郎 会員



今日はお祭りの話ということで多少普段のスピーチよりはあまり気を遣わないで話せるのかなと思っております。すす払いという言葉を使っておりますが、これは掃除をしながらお祭りの準備をするということで、今日はすす払いとして皆様にご協力を賜っております。当日の神輿と伴走車に付ける風船を膨らましたり、軽トラックに提灯を付けたり、紅白のさらしを巻いたり、お祭らしいように仕立てて巡行する準備が立派に出来ました。ご協力ありがとうございました。ここ数年、お祭りの前は私のスピーチになっておりますが、今日おいでの佐藤新一さんには毎年お手伝いいただき、また、菅野さんも私の昔の若連の時の仲間で、私の片腕という方たちが今ロータリーでもご協力いただいております。まず、佐藤新一さんをご紹介しますが、この方は上町の世話人を務めたり、また、太鼓にご協力をいただいております。本日のすす払いにもお手伝いいただき、例会への出席も快くお引き受けいただきました。

私は31歳で世話人をやりましたが35歳で後ろ髪惹かれながら他の方に譲りました。他の町もそうですが、ある程度の年齢になったら若い者に譲ります。その後、六町内の屋台だけではなく、何か賑やかになるようにやりたいということで考えました。本当に私がやりたかった事は踊り屋台です。福島で踊り屋台が復元されましたが、それをやりたかったのです。40年前に見積もりましたら800万円でした。これはちょっと出来ないなと思い、通称“やんまやんま”をやろうと思い、昔の伝手を頼って、昔、今の清水町に人形師がおりまして色々な物を作っており、それを借りられるということで私も行ったのですが、私の目にかなう人形がありませんでした。その人形は近所の方々が作っているようで、彼らに出来て私に出来ない事はないと思い、私の近所に大工さんもおりましたので、当時、ガンダムを作ろうということで、本からサイズを計算したのですが、当時の大工さんは「尺」で日本古来の寸法なのです。私は珠算もやっておりますので、メートルを尺に直して大工さんに指示しました。それが第一回目のガンダムです。そこで新一さんの話に戻りますが、この方には電気を全部担当していただきました。以前ユアテックにお務めで、光回線のプロ中のプロです。当時、国道に光回線を埋設するのに、ほとんどの方が東北6県を回って歩いていました。たまたま、運良く知り合ったものですから、ガンダムの目に電気を入れるとか、技術をお持ちなので私の思い通りに作っていただきました。これからも体の動く限り、ロータリーがお祭りを行う限り、色々お手伝いいただければと思います。これからも宜しくお願いいたします。

お祭りは神主さんがご神体を敬ってお祀りするのが本来の意味です。我々は“にぎやわし”なのです。飯坂のお祭りに当てはめて言いますと、今は太鼓屋台が六町出ていますが、以前は太鼓屋台が無かったと思います。明治に神仏が別離になりましたが、その前は合同でしたので八幡寺にご神体がありました。今の村崎明神が元々の八幡神社の境内になります。そこに八幡神社を建立し、八幡寺からご神体を移して、そこでやっておりました。先日の歴史本にもありますが、本殿の一番棟ぐしに卍の紋があります。しかし、八幡神社の家紋そのものは左三つ巴です。

飯坂の太鼓は祇園の流れをくむと言われていました。私は京都にも行きましたが、飯坂のリズムは京都どこに行ってもありません。一番リズムが合うのかなというのは「阿波踊り」です。私の大先輩が叩いていた太鼓が非常に似ております。これは関西からきているのかなという思いがあります。戦後の飯坂の屋台では、若者のお祭りに対する熱意が無くなってきました。一時期は担げなくなり引き屋台になりました。昔の人は体が二回りほど小さいのですが力はあったのですね。屋台を前3人後ろ2人で担ぐのです。よくこれで町を回ったなと思います。昔を知っている方から「今の太鼓はなんだ」とよく聞きます。それは今の方々に責任はありません。ご存知の通り、私は大阪万博で飯坂太鼓を披露しに行きました。総勢7名で私たちは日本一の太鼓だと思っておりましたが、向こうのディレクターが出てきて「これはなんだい」と、向こうは物足りない感じなのです。1970年当時は、佐渡の御陣乗太鼓が全国に知れ渡ってきた時代でした。テレビも普及し舞台映えをしないとダメなのです。とにかく日本一の太鼓を聞いてくれと言って聞いてもらおうと、「全くいい太鼓だ」と言うのです。いい太鼓だと認めるけどこれでは舞台映えしないと、それで地元に戻って話すと、やはりこれからはそういう時代なのだとということで、大太鼓を二つ合わせるようにしました。それで今の打ち方になったのです。以前の打ち手は、基本はありますが自分の太鼓でやっておりました。だから聞く方も良かったのです。ところが今の太鼓は合わせるために誰が打っても同じなのです。それはしょうがないと私は思っています。今は太鼓祭りもあり認知度も上がっておりますので、今の方が素晴らしい努力をしていると思います。もう一つ、以前は前3人後ろ2人、多くて4、5人です。今の屋台をその人数で担ぐと途中でへたばります。それは自分の歩くテンポになっていないからです。太鼓のリズムは流しが一番の基本なのです。それは、太鼓屋台を担いで全町内を歩く時に疲れを感じさせない叩き方なのです。今の人は色々な制約もあって、舞台でも披露するのでそれはしょうがないのですが、飯坂は本当は伝統太鼓なのです。ステージ映えするのは今の創作太鼓です。それを一緒にしては困るなと私は思っています。また、今の宮入は観光に寄与してはならないということで、花岡町から千人風呂通りを回ってくるようになりました。40年前に各町内に蠟燭代として巡行の時間が長くなりますので一万円で祭典事務所に請負ました。それで今のコースになりました。山車が壊れないように担ぎ棒は太く丈夫にしていますが自重が重くなります。神輿は80キロがいいところです。皆さんが担げば200キロに感じます。肩を当てて手で触れば、必ず手の重さが下にきます。その力を分散できずに自分の肩にかかり重く感じます。それもお祭りの楽しみですから、今の私の話を思い出しながら担いで下さい。今年も怪我の無いように楽しんでいただきたいと思います。次年度機会がありましたら太鼓の材質についてお話しさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長

■第5回理事会、職業分類・会員増強・選考合同委員会開催 10月4日(木) 13:30~「吉川屋」

《内容》①会員増強について ②ご家族様同伴ボウリング大会について ③職場訪問について ④地区大会について

⑤県北第二分区分合同例会について ⑥クラブ内の新会員研修会について ⑦11月の例会プログラム ⑧その他

《出席者》吾妻一夫、村上裕司、千葉政行、菅野浩司、佐藤真也、生田目正志、川又康彦、島 隆章、安斎忠作 以上の会員